

3) 集合研修の実施及び行動計画の策定

① 集合研修参加要項

環境省主催
平成 30 年度自然資源を活かす
エコツーリズム・インタープリテーションの
人材育成支援事業
《集合研修参加要項》

※当研修会は、(公社)日本環境教育フォーラム(JEEF)とNPO法人日本エコツーリズム協会(JES)が、環境省より受託し実施します。

日程： 2018年11月28日(水)～30日(金)

エクスカーション (自由参加) 2018年12月1日(土)

【内容】

1. 研修会スケジュール
 2. 研修会場へのアクセス・受付時間
 3. 食事・宿泊について
 4. 保険について
 5. 持ち物
 6. エクスカーションについて
 7. 連絡先
- 送迎・交流会申込書

1. 研修会スケジュール

※カリキュラム・時間については若干変更の可能性があります。
 ※都合により講師が変更になる場合もあります。ご了承ください。

1日目

開始時刻	所要時間	内容	担当	進行/ファシリテーター	会場
12:00	1:00	受付		JEEF & JES	オオシマフォーラム
13:00	0:03	開会	-----	JEEF	オオシマフォーラム 大会議室
13:03	0:03	主催者挨拶	環境省	JEEF	〃
13:06	0:09	研修全体のオリエンテーション	-----	川崎直	〃
13:20	0:30	アイスブレイク	-----	川崎直	〃
13:50	0:30	講義「日本の自然環境の価値とブランディングについて」	環境省	川崎直	〃
14:20	0:10	PKT&QA	-----	川崎直	〃
14:30	0:10	休憩			
14:40	1:00	講義「エコツーリズム概論/エコツーリズムの経済学」	海津ゆりえ 真板昭夫	川崎直	〃
15:40	0:10	PKT&QA	-----	川崎直	〃
15:50	0:10	休憩			
16:00	0:45	講義「地域挙げての観光振興のきっかけづくり」	山田 桂一郎	川崎直	〃
16:45	0:10	PKT&QA	-----	川崎直	〃
16:55	0:10	休憩			
17:05	0:45	講義「インタープリテーションの様々なスタイル(含むノンパーソナルインタープリテーション)/インタープリテーション全体計画概論」	古瀬浩史	川崎直	〃
17:50	0:10	PKT&QA	-----	川崎直	〃
18:00	0:10	休憩			
18:10	0:30	今日一日のふりかえり	-----	川崎直	〃
18:40	0:05	事務連絡	-----	川崎直	〃
18:45	0:15	お部屋にチェックイン			
19:00	2:00	夕食&懇親会(チームの自己紹介も含む)		JEEF	オオシマフォーラム 食堂

2日目(Aチーム)

開始時刻	所要時間	内容	担当	進行/ファンリテーター	会場
8:30	0:30	那須平成の森へ移動			
9:00	0:10	今日の流れの確認/会場の使い方の説明など	←←←←← ←	鳥屋尾 健	那須平成の森 フィールドセンター /レクチャールーム
9:10	0:35	講義「テーマを基にしたインタープリテーション」	古瀬浩史	鳥屋尾 健	〃
9:45	0:35	講義「インタープリテーションの様々な道具や手法の紹介」	古瀬浩史 山崎宏	鳥屋尾 健	〃
10:20	0:30	休憩			
10:50	0:35	講義「インタープリテーションのプログラム・デザイン手法」	川嶋直	鳥屋尾 健	〃
11:25	0:35	ワークショップ「自らのプログラムを再デザインする」	川嶋直 (古瀬浩史、山崎宏)	鳥屋尾 健	〃
12:00	1:00	昼食(お弁当)			
13:00	0:20	那須高原ビジターセンターへ移動			
13:20	0:05	会場の使い方の説明など	←←←←← ←	鳥屋尾 健	那須高原ビジター センター
13:25	1:00	講義「インタープリテーション全体計画」	古瀬浩史	鳥屋尾 健	〃
14:25	0:10	PKT&QA	←←←←← ←	川嶋直	〃
14:35	0:10	休憩			
14:45	0:30	講義「那須平成の森のIP全体計画の紹介と実際のIP(パーソナル&ノンパーソナル)の紹介」	菅原 遊 古瀬浩史	鳥屋尾 健	〃
15:15	0:10	PKT&QA	←←←←← ←	川嶋直	〃
15:25	0:10	休憩			
15:35	1:10	ワークショップ「IP計画を書いてみる」その1	古瀬浩史	鳥屋尾 健	〃
16:45	0:10	休憩			
16:55	1:10	ワークショップ「IP全体計画を書いてみる」その2	古瀬浩史	鳥屋尾 健	〃
18:05	0:30	今日一日のふりかえり	鳥屋尾 健	鳥屋尾 健	〃
18:35	0:10	事務連絡		JEEF	〃
18:45	0:15	オオシマフォーラムへ移動			
19:00	0:10	休憩			
19:10	1:00	夕食			オオシマフォーラム 食堂

2日目(Bチーム)

開始時刻	所要時間	内容	担当	進行/ファシリテーター	会場
8:30	0:25	那須高原ビジターセンターへ移動			
8:55	0:05	集合 今日の流れの確認/会場説明など	事務局		那須高原ビジターセンター
9:00	0:50	講義「地域におけるエコツアーガイドの役割」	江崎 貴久		〃
9:50	0:05	小休憩			
9:55	0:50	講義「地域内の協力体制づくりとコーディネーターの役割」	江崎 貴久		〃
10:45	0:10	休憩			
10:55	0:30	各地域の仕組み・体制づくりの課題解決に向けて	Bコース全講師		〃
11:25	1:00	昼食休憩(弁当)			
12:25	0:15	那須平成の森へ移動			
12:40	0:05	会場説明など	事務局		那須平成の森フィールドセンター/レクチャールーム
12:45	0:50	講義「ガイド手法とプログラムづくり」	安類 智仁		〃
13:35	0:05	小休憩			
13:40	0:50	講義「リスクマネジメント」	安類 智仁		〃
14:30	0:10	休憩			
14:40	0:30	各地域のより良いプログラムづくりに向けて	Bコース全講師		〃
15:10	0:10	休憩			
15:20	0:50	講義「マーケティング・販売戦略について」	松田 光輝		〃
16:10	0:30	オオシマフォーラムへ移動			
16:40	0:10	休憩			
16:50	0:50	講義「事業経営について」	松田 光輝		オオシマフォーラム大会議室
17:40	0:10	休憩			
17:50	0:30	各地域の商品化・事業化の課題解決に向けて	Bコース全講師		〃
18:20	0:10	休憩			
18:30	0:30	今日一日のふりかえり	全講師		〃
19:00	0:05	事務連絡	事務局		〃
19:05	0:05	休憩			
19:10	1:30	夕食			オオシマフォーラム食堂

3日目

開始時刻	所要時間	内容	担当	進行/ファシリテーター	会場
8:30	0:15	本日の流れの確認/必要に応じてふりかえり/出た質問に答える	該当講師	川嶋直	オオシマフォーラム 大会議室
8:45	0:45	講義「自然保護・モニタリングについて」	横山 隆一	川嶋直	〃
9:30	0:10	PKT&QA	←←←←←←←←	川嶋直	〃
9:40	0:10	休憩			
9:50	0:40	講義「インバウンド対応」	古屋 絢子	川嶋直	〃
10:30	0:10	PKT&QA	←←←←←←←←	川嶋直	〃
10:40	0:10	休憩			
10:50	0:35	講義「ユニバーサル対応」	佐藤由香利	川嶋直	〃
11:25	0:10	PKT&QA	←←←←←←←←	川嶋直	〃
11:35	0:10	休憩(会場レイアウト変更)			
11:45	0:35	行動計画のブラッシュアップ&個別相談会①	全講師	川嶋直	〃
12:20	1:00	昼食休憩			オオシマフォーラム 食堂
13:20	1:40	行動計画のブラッシュアップ&個別相談会②	全講師	川嶋直	オオシマフォーラム 大会議室
15:00	0:30	研修全体のふりかえり(アンケート記入も)	←←←←←←←←	川嶋直	〃
15:30	0:10	今後の事務連絡	←←←←←←←←	JEEF	〃
15:40	0:15	閉会式	←←←←←←←←	JEEF	〃

2. 研修会場へのアクセス・受付時間

会場：オオシマフォーラム

【住所】〒325-0301 栃木県那須町 205-207 【電話】0287-76-1700

アクセス

【公共交通機関でお越しの場合】

新幹線：東北新幹線・那須塩原駅下車 在来線：JR黒磯駅下車

那須塩原駅から会場へは研修会専用の貸し切り送迎バスを運行します
送迎ご希望の方は「研修会参加申込書」にて事務局へご連絡ください。

送迎バス利用の方

行き

11/28(水) 11:45 那須塩原駅西口ロータリー集合

(参考：東京方面からは10:12東京駅発→11:21那須塩原駅着 やまびこ207号が便利です)

帰り

11/30(金) 研修会終了後に那須塩原駅まで送迎いたします。

(参考：東京方面へは16:48那須塩原駅発→東京駅17:56着 なすの292号が便利です)

路線バス：那須塩原駅または黒磯駅より、東野交通バス「山水閣入口(つつじヶ丘)」下車
徒歩約3分 東野交通：0286-62-1080

【車でお越しの場合】 無料駐車場有



公式HPアクセス情報：<http://www.ohshima-forum.jp/access/index.html>

受付時間 ※この時間内に必ずオオシマフォーラムまで、お越しください。

11月28日(水) 12:00-13:00

3. 食事・宿泊について

★初日 28 日の昼食は各自でご用意ください★

研修期間中は、原則として全員全日、研修施設にて宿泊、食事となります。

2泊3日、計6食付 お一人様あたり 23,100 円（消費税・入湯税込）

※相部屋でのご用意となります。

※食事は1日目：夕、2日目：朝昼夕、3日目：朝昼（計6食）

※1日目（全体）2日目（コース別）夕食時に、交流会の開催を予定しています（飲み放題付）

※交流会へのお持ち込みは自由です。地域の自慢の品々やお飲み物をぜひご持参ください

4. 保険について

集合研修期間中、傷害保険に加入していただきます。

保険料：お一人様あたり 300 円（3日間で）

※上記「宿泊費」「保険料」は当日受付にてチームごとに現金精算させていただきます。

（例：3名参加の場合 69,300 円（23,100 円×3名）+900 円（100 円×3名×3日）=70,200 円）

5. 持ち物

- 筆記用具
- 保険証
- 各自、宿泊に必要なもの
- 交通・宿泊等に必要な現金
- ペットボトルや水筒などの飲みもの（必要に応じて）
- 現金
- 防寒着、雨具等
- その他（地域のパンフレット・観光案内等）

※事前に会場に送付可能です。着日を前日(11/27)に指定の上、品名を「環境省研修会持ち込み資料」と明記の上、上記会場オオシマフォーラム宛にお送りください。

6. エクスカーションについて

集合研修最終日の翌日、12月1日(土)に皆様に那須の自然を楽しんでいただけるよう、エクスカーションを企画いたしております。(自由参加制) この機会にぜひご参加ください。

(終了後は現地から那須塩原駅へのバス送迎いたします)

プログラム概要 (予定)

～インタープリターとあるく那須平成の森ガイドウォーク～

インタープリターとともに、国立公園・那須平成の森を歩きます。豊かな森を、インタープリターの解説とともにじっくりとお楽しみください。距離が短い中でもたくさんの発見があり、しっかりと平成の森を堪能できる、導入にふさわしいコースです。季節ごとにガイドのテーマも様々。1枚の葉っぱに科学的に注目するときもあれば、自然の中で感性を磨いたりすることも。きっと素敵な出会いが待っていることでしょう。*緩やかなアップダウンのある山道を、1.5kmほど歩きます。(一度出発すると引き返すことができません)

日程：12月1日(土曜日)

9:00 オオシマフォーラム出発(バス移動)

9:30 ～ 11:30 那須平成の森

12:00 お弁当

13:00 那須平成の森 出発(バス移動)

14:00 那須塩原駅 到着・解散

(*スケジュール、内容は今後の調整や天候状況により、変更となる場合があります。)

*服装、持ち物につきましては、こちらをご覧ください。

<http://www.nasuheiseinomori.go.jp/guidetocustomer>

参加費：10,000円(30日の宿泊費、翌日のお弁当代、プログラム参加費、保険料の合計です)

(内訳) オオシマフォーラム宿泊費・食費 7,700円、プログラム参加費 1,600円(税込)

お弁当 600円、保険料 100円

※参加応募は研修参加申し込みフォームにてお申し込みください。

※費用は初日受付にて現金精算させていただきます。

7. 連絡先

宿泊・交流会に関するお問合せ

NPO 法人日本エコツーリズム協会 (J E S) 担当：坪根

〈電話〉 03-5437-3080 〈FAX〉 03-5437-3081

〈メール〉 tsubone@ecotourism.gr.jp

研修会当日の緊急連絡先

090-4956-4794 (J E S 事務局携帯) ※研修会当日のみご利用ください。

環境省主催
平成30年度自然資源を活かす
エコツーリズム・インタープリテーションの
人材育成支援事業 集合研修（那須）

参加申込書

下記に必要事項をご記入の上、EメールまたはFAXにてお知らせください

送付先：Email tsubone@ecotourism.gr.jp / FAX 03-5437-3081
NPO法人日本エコツーリズム協会 担当：坪根

2018年10月22日(月) 必着

地域・チーム名			
参加者①氏名	バス送迎（行き）	バス送迎（帰り）	
ふりがな			
住所	交流会（11/28）	エクスカージョン（12/1）	
〒			
携帯電話番号（当日ご連絡が取れる番号）	Email(必須)		
所属（勤務先や所属する任意団体名など）			
参加者②氏名	バス送迎（行き）	バス送迎（帰り）	
ふりがな			
住所	交流会（11/28）	エクスカージョン（12/1）	
〒			
携帯電話番号（当日ご連絡が取れる番号）	Email(必須)		
所属（勤務先や所属する任意団体名など）			
参加者③氏名	バス送迎（行き）	バス送迎（帰り）	
ふりがな			
住所	交流会（11/28）	エクスカージョン（12/1）	
〒			
携帯電話番号（当日ご連絡が取れる番号）	Email(必須)		
所属（勤務先や所属する任意団体名など）			

■ 講習会についてのお問い合わせは
NPO法人日本エコツーリズム協会
〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル3F
TEL 03-5437-3081 FAX 03-5437-3081
Email tsubone@ecotourism.gr.jp

集合研修に向けた自己研修教材のご案内

(事前必修)

参加者の皆様に 11月 28 日から 30 日に開催される集合研修までに、**事前に学んでおいて頂きたい教材**についてのお知らせです。チームの代表者様は、参加予定のメンバーの皆様に共有をお願いいたします。

自己研修の趣旨

集合研修では、講師や参加者同士でのディスカッションにできるだけ多くの時間を割きたいと考えています。そのため、集合研修での講義やワークショップは、自己研修の教材を学んで頂いた前提で実施しますので、集合研修の導入として、**教材は必ず事前にご覧ください。**

また教材をご覧になり、より詳しく学びたいと思ったこと、疑問に感じたこと、課題と感じていること等を、あらかじめ整理した上でご参加いただきますと、集合研修時にスムーズにコミュニケーションが図れます。

教材をご覧いただく順番

まず初めに、ABコース共通の教材を番号順にご覧ください。その後、Aコースを受講される方は、Aコースの教材を番号順に、Bコースを受講される方は、Bコースの教材を番号順にご覧ください。また本研修は2つのコースに分かれています。インタープリテーションおよびエコツーリズムについての考え方や中身は、全ての受講生にとって非常に大切な要素ですので、受講されるコースの教材をご覧になりましたら、他のコースの動画も必ずご覧いただくように、お願い致します。

教材の一覧表を掲載

上記の教材は下記サイトにて閲覧・ダウンロードいただけます。

動画教材

YouTube チャンネルのプレイリスト

<https://goo.gl/ooPLpc>

テキスト教材（データでの配布）

上記動画に対応するテキストは代表者様宛の教材ご案内メールに添付いたしております。

※インターネット上での教材閲覧が難しい場合は、DVD 等をお送りしますので、お早めに事務局にご相談ください。

●事前必修（事前に必ず見て頂きたい動画）

A・Bコース共通 教材リスト

NO	タイトル	担当	ねらい	内容	URL	動画	テキスト
A01	本事業の目指すところ	環境省	本事業の概要と、獲得目標を理解し、共有する。	本事業を通じて、自然資源を活かすエコツーリズム、インタープリテーションの人材を育成するに至った背景、事業の意義、事業を通じた獲得目標等について。	https://youtu.be/ZApMaM5NE	12分07秒	あり
A02	日本の自然環境の価値と意味	田中 伸彦	日本の自然の多様性、稀有性を認識する。	世界における産業としての観光の位置づけを踏まえ、自然を案内するガイドに求められることについて。また、世界における、日本の自然の特異性や稀少性について。	https://youtu.be/NOUUMSsV54	16分57秒	あり
A03	自然を守り活かすツール	環境省	地域の最大の資源である自然を守り、積極的に活用するための制度を知る。	エコツーリズム推進法と自然公園法の概要について。	https://youtu.be/lafcogA1Yw	13分22秒	あり

33分02秒

Aコース事前研修 教材リスト

NO	タイトル	担当	ねらい	内容	URL	動画	テキスト
1	インタープリテーションとは	川崎 直	インタープリテーションのそもそもの意味は「通訳」であるが、ここでは人と自然とをつなぐ役割であるという考え方を理解する	インタープリテーションの研究者フリーマン・ナルデンは「インタープリテーションとは事物や事象の背後にある意味や関係を明らかにする教育活動である」と言っている。	https://youtu.be/KhgIsaer1Ik	4分10秒	なし
2	インタープリテーションの特徴	古瀬 浩史	インタープリテーションは教育的活動ですが、フォーマルな教育とは異なる特徴を指しており、その理解はインタープリテーションを計画する人にとって大切です。	インタープリテーションの持つ教育的な側面での特徴のうち、特に大切な二つの特徴である、「資源に基づくこと」、「テーマの設定」について、学校などのフォーマルな教育と比較しながら説明します。	https://youtu.be/b-V_dhLk28g	3分25秒	なし
3	インタープリテーションの様々なスタイル	西村 仁志	インタープリテーションには人が直接行うものだけでなく、人を介さないものなど様々なスタイルがあることを知る	米国のヨセミテやハワイの国立公園でのインタープリテーションを例に様々なスタイルのインタープリテーションがあることを紹介している。インタープリターが直接語るスタイルの他に展示物やセルフガイドマップを使ったインタープリテーションのスタイルがあることを紹介している。	https://youtu.be/D4X877E2.dml	10分21秒	なし
4	インタープリテーションの小道具	古瀬 浩史	インタープリターが解説を行う時に様々な小道具を使うことがある。説明時にはイラストを描いたフリップ、虫眼鏡や、観察のための様々な小道具などだ。	東京都奥多摩郡にある山のふもと村のインタープリターを訪問し、彼らが実際にどのような小道具を解説に使用しながらインタープリテーションを行っているのかを紹介している。	https://youtu.be/yekH8m0a1g	8分39秒	なし
5	インタープリテーションのプログラムデザイン	川崎 直	プログラムをデザインするとは、プログラムへの「こんにちはさようなら」までの間の様々なことをしっかりと準備（デザイン）すること。このことの大切さを理解する。	プログラムデザインとは具体的に、プログラム時間内の「時間」と「空間」と「関係性」をデザインしておくこと。ただ、その前にそのプログラムで大切なことは「誰（参加者）に、どうなってほしいのか？」をしっかりと整理しておくことだ。	https://youtu.be/TZ89zLzLzML	6分41秒	なし
6	インタープリテーション全体計画	古瀬 浩史	インタープリテーション全体計画の概要を理解する。インタープリテーション全体計画とは公園（地域）内で行われるインタープリテーション全体を包括的に計画することを指す。	エリア内で行われるインタープリテーション活動（含む展示・印刷物などのノンバーバルインタープリテーション）が共通のコンセプトのもとで計画されている状態に2000年代の米国の例を紹介する。インタープリテーション全体計画の基本要素は5項目「WHY：何のため」「WHO：誰に対して」「WHAT：何を」「WHERE：どこで」「WHEN：いつ」「HOW：どのようにして」広えるかを地域内の多様な主体とともに考える。	https://youtu.be/aKk4Yw1xIGQ	6分25秒	なし

46分16秒

集合研修スケジュール

1日目

行番号	開始時刻	所要時間	内容	担当	進行	会場
1	13:00	0:03	開会	←←←←←←←	川嶋直	オオシマフォーラム 大会議室
2	13:03	0:03	主催者挨拶	環境省	川嶋直	〃
3	13:06	0:09	研修全体のオリエンテーション	←←←←←←←	川嶋直	〃
4	13:15	0:05	講師・環境省担当官・スタッフの紹介	←←←←←←←	川嶋直	〃
5	13:20	0:30	アイスブレイク	←←←←←←←	川嶋直	〃
6	13:50	0:30	1-1:講義「日本の自然環境の価値とブランディングについて」	環境省	川嶋直	〃
7	14:20	0:10	PKT&QA	←←←←←←←	川嶋直	〃
8	14:30	0:10	休憩			
9	14:40	1:00	1-2:講義「エコツーリズム概論／エコツーリズムの経済学」	海津ゆりえ	川嶋直	〃
10	15:40	0:10	PKT&QA	←←←←←←←	川嶋直	〃
11	15:50	0:10	休憩			
12	16:00	0:45	1-3:講義「地域挙げての観光振興のきっかけづくり」	山田 桂一郎	川嶋直	〃
13	16:45	0:10	PKT&QA	←←←←←←←	川嶋直	〃
14	16:55	0:10	休憩			
15	17:05	0:45	1-4:講義「インタープリテーションの様々なスタイル／インタープリテーション全体計画概論」	古瀬浩史	川嶋直	〃
16	17:50	0:10	PKT&QA	←←←←←←←	川嶋直	〃
17	18:00	0:10	休憩			
18	18:10	0:30	今日一日のふりかえり	←←←←←←←	川嶋直	〃
19	18:40	0:05	事務連絡	←←←←←←←	川嶋直	〃
20	18:45	0:15	お部屋にチェックイン			
21	19:00	2:00	夕食&懇親会(チームの自己紹介も含む)		JEEF	オオシマフォーラム 食堂
22	21:00		終了	←←←←←←←	川嶋直	

2日目(Aコース)

行番号	開始時刻	所要時間	内容	担当	進行	会場
23	8:30	0:30	那須平成の森へ移動(玄関前集合)			
24	9:00	0:10	今日の流れの確認/会場の使い方の説明など	←←←←←←	烏屋尾 健	那須平成の森フィールドセンター/レクチャールーム
25	9:10	0:35	2A-1:講義「テーマを基にしたインタープリテーション」	古瀬浩史	烏屋尾 健	〃
26	9:45	0:35	2A-2:講義「インタープリテーションの様々な道具や手法の紹介」	古瀬浩史、山崎宏 古屋絢子	烏屋尾 健	〃
27	10:20	0:30	休憩			
28	10:50	0:35	2A-3:講義「インタープリテーションのプログラム・デザイン手法」	山崎宏	烏屋尾 健	〃
29	11:25	0:35	2A-4:ワークショップ「自らのプログラムを再デザインする」(行政担当者は別途情報交換会)	川嶋直 (古瀬浩史、山崎宏)	烏屋尾 健	〃
30	12:00	1:00	昼食(お弁当)			
31	13:00	0:20	那須高原ビジターセンターへ移動			
32	13:20	0:05	会場の使い方の説明など	←←←←←←	烏屋尾 健	那須高原ビジターセンター
33	13:25	1:00	2A-5:講義「インタープリテーション全体計画」	古瀬浩史	烏屋尾 健	〃
34	14:25	0:10	PKT&QA	←←←←←←	烏屋尾 健	〃
35	14:35	0:10	休憩			
36	14:45	0:30	2A-6:講義「那須平成の森のIP全体計画の紹介と実際のIPの紹介」	菅原遊 古瀬浩史	烏屋尾 健	〃
37	15:15	0:10	PKT&QA	←←←←←←	烏屋尾 健	〃
38	15:25	0:10	休憩			
39	15:35	1:10	2A-7:ワークショップ「IP全体計画を書いてみる」その1	古瀬浩史	烏屋尾 健	〃
40	16:45	0:10	休憩			
41	16:55	1:10	2A-7:ワークショップ「IP全体計画を書いてみる」その2	古瀬浩史	烏屋尾 健	〃
42	18:05	0:30	今日一日のふりかえり	烏屋尾 健	烏屋尾 健	〃
43	18:35	0:10	事務連絡		JEEF	〃
44	18:45	0:15	オオシマフォーラムへ移動			
45	19:00	0:10	休憩			
46	19:10	1:00	夕食			オオシマフォーラム 食堂
47	20:10	0:45	終了		川嶋直	

2日目(Bコース)

行番号	開始時刻	所要時間	内容	担当	進行	会場
48	8:30	0:25	那須高原ビジターセンターへ移動(玄関前集合)			
49	8:55	0:05	今日の流れの確認/会場説明など	事務局	坪根 悠太	那須高原ビジターセンター
50	9:00	0:50	2B-1:講義「地域におけるエコツアーガイドの役割」	江崎 貴久	辻野 啓一	〃
51	9:50	0:05	小休憩			
52	9:55	0:50	2B-2:講義「地域内の協力体制づくりとコーディネーターの役割」	江崎 貴久	辻野 啓一	〃
53	10:45	0:10	休憩			
54	10:55	0:30	2B-3:各地域の仕組み・体制づくりの課題解決に向けて	Bコース全講師	辻野 啓一	〃
55	11:25	1:00	昼食休憩(弁当)			
56	12:25	0:15	那須平成の森へ移動			
57	12:40	0:20	会場説明・ビジターセンター自由見学	事務局		那須平成の森フィールドセンター/レクチャールーム
58	13:00	0:50	2B-4:講義「ガイド手法とプログラムづくり」	安類 智仁	辻野 啓一	〃
59	13:50	0:05	小休憩			
60	13:55	0:50	2B-5:講義「リスクマネジメント」	安類 智仁	辻野 啓一	〃
61	14:45	0:10	休憩			
62	14:55	0:30	2B-6:各地域のより良いプログラムづくりに向けて	Bコース全講師	辻野 啓一	〃
63	15:25	0:10	休憩			
64	15:35	0:50	2B-7:講義「マーケティング・販売戦略について」	松田 光輝	辻野 啓一	〃
65	16:25	0:15	オオシマフォーラムへ移動			
66	16:40	0:10	休憩			
67	16:50	0:50	2B-8:講義「事業経営について」	松田 光輝	辻野 啓一	オオシマフォーラム大会議室
68	17:40	0:10	休憩			
69	17:50	0:30	2B-9:各地域の商品化・事業化の課題解決に向けて	Bコース全講師	辻野 啓一	〃
70	18:20	0:10	休憩			
71	18:30	0:30	今日一日のふりかえり	全講師	辻野 啓一	〃
72	19:00	0:05	事務連絡	事務局	坪根 悠太	〃
73	19:05	0:05	休憩			
74	19:10	1:00	夕食			オオシマフォーラム食堂
75	20:10		終了			

3日目

行番号	開始時刻	所要時間	内容	担当	進行	会場
76	8:30	0:15	本日の流れの確認／必要に応じてふりかえりて出た質問に答える	該当講師	川嶋直	オオシマフォーラム 大会議室
77	8:45	0:45	3-1.講義「自然保護・モニタリングについて」	横山 隆一	川嶋直	〃
78	9:30	0:10	PKT&QA	←←←←←←←←	川嶋直	〃
79	9:40	0:10	休憩			
80	9:50	0:40	3-2.講義「インバウンド対応」	古屋絢子	川嶋直	〃
81	10:30	0:10	PKT&QA	←←←←←←←←	川嶋直	〃
82	10:40	0:10	休憩			
83	10:50	0:35	3-3.講義「ユニバーサル対応」	佐藤由香利	川嶋直	〃
84	11:25	0:10	PKT&QA	←←←←←←←←	川嶋直	〃
85	11:35	0:10	休憩(会場レイアウト変更)			
86	11:45	0:35	3-4.行動計画のブラッシュアップ&個別相談会①	全講師	川嶋直	〃
87	12:20	1:00	昼食前に全体集合写真撮影／昼食休憩			オオシマフォーラム 食堂
88	13:20	1:40	3-4.行動計画のブラッシュアップ&個別相談会②	全講師	川嶋直	オオシマフォーラム 大会議室
89	15:00	0:30	研修全体のふりかえり(アンケート記入も) ふりかえり用紙への記入一少人数で共有	←←←←←←←←	川嶋直	〃
90	15:30	0:05	今後の事務連絡	←←←←←←←←	JEEF	〃
91	15:35	0:10	閉会式	←←←←←←←←	JEEF	〃
92	15:45	0:15	終了	全講師	JEEF	
93	16:00		オオシマフォーラム出発			

④ 集合研修参加チーム参加者一覧

A コース

地域等	参加人数	応募者の所属等			
		①	②	③	④
北海道千歳市 国立公園支笏湖運営協議会	3	環境省レンジャー	ガイド事業者	財団職員	
霧ヶ峰高原	2	県職員	拠点施設		
上信越高原国立公園浅間地域	3	拠点施設	拠点施設	環境省レンジャー	
京都丹波高原国定公園	2	DMO職員	拠点施設		
和歌山県上富田町および南和歌山地域	3	市民団体	行政職員	市民団体	
沖縄県国頭郡国頭村・大宜味村・東村、やんばる国立公園	3	環境省レンジャー	拠点施設	観光協会	

B コース

地域等	参加人数	応募者の所属等			
		①	②	③	④
北海道大樹町	3	観光関連協議会	観光関連協議会	行政職員	
栃木県日光市湯元 日光国立公園 奥日光	4	財団職員	宿泊事業者	拠点施設	環境省レンジャー
石川県白山市白峰 白山国立公園	3	観光関連協議会	観光関連協議会	観光関連企業	
山梨県富士吉田市	2	商工会議所	通訳案内士		
広島県安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会	3	地域商社	ガイド事業者	地域商社	
土佐清水市	3	行政職員	ガイド事業者	環境省レンジャー	

⑤ 集合研修の実施状況

1 日目の様子 (A・Bコース共通)



日本環境教育フォーラム理事長、川嶋氏が研修のオリエンテーションをおこない2泊3日の集合研修がスタート。

つづいて環境省担当官から研修の趣旨説明とねらいについて説明があった。

研修の初日は、Aコース、Bコースそれぞれの参加者にとって基礎的な知識として重要なことについての講義が行われた。



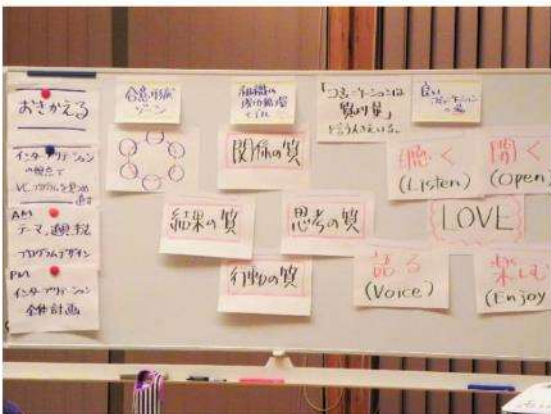
講義の様子 (山田桂一郎氏：地域挙げての観光振興のきっかけづくり)

集合研修のメイン会場は、グループワークでの使い勝手を優先して、6人を1グループとするアイランド形式とし、講師も1名ずつ各グループに入って研修生のサポートを行いながらの講義やワークショップとなった。

会場の隅には、各参加チームが持ち寄った地域を紹介するパンフレットコーナーや、講師の著作の販売コーナー、応急救命グッズなどを設置した。



2日目の様子 (Aコース)



午前は「那須平成の森フィールドセンター」に移動し、屋外でのウォーミングアップ (左) の後、インタープリテーションの様々な手法の紹介、プログラムデザインについての講義・ワークショップを実施。

また、行政担当者を対象に、各地域の課題などを共有する情報交換会も行った (左下)。休憩時間には実際の展示を見ながらセンターのスタッフに熱心に質問をする人もいた (下)。



午後は「那須高原ビジターセンター」で、インタープリテーション (IP) 計画についての講義をもとに、現場でインタープリテーション計画がどのように活かされているかを、高尾山や那須平成の森の事例を交えながら学ぶワークショップとなった。KP 法で講義を進める川嶋講師 (左)、IP 計画を解説する古瀬講師 (下)、地域の IP 計画について考えるグループワーク (左下) の様子。



2日目の様子（Bコース）

講義の様子（江崎貴久氏：地域内の協力体制づくりにおける地域コーディネートの役割）



午前は「那須高原ビジターセンター」内研修室にて、講義を行った。
いかに地域の協力体制を構築しながら、エコツアー事業を展開していくかについて、スライドや動画を交えて講義を行った。講義をすすめる江崎講師（左）

講義の様子（安類智仁氏：ガイド技術とプログラム作り）



午後は「那須平成の森フィールドセンター」に移動し、自由に展示の閲覧ののち、安類講師から、プログラムデザイン・リスクマネジメントについての講義を実施（左）。
またマーケティングに関して、松田講師より講義をおこなった（左下）
松田氏の講義後オオシマフォーラムに移動し、引き続き、事業経営についての講義を行った。

講義の様子（松田光輝氏：マーケティング・販売戦略について）



3日目の様子

3日目の前半は、自然保護モニタリング（横山講師・左）や、今後のツーリズムビジネスの展開において重要な課題となっているインバウンド対応（古屋講師・中）やユニバーサル対応（佐藤講師・右）についての講義が行われた。



集合研修の締めくくりは「行動計画の作成」。川嶋講師から計画の作り方を学びながら、地域に帰ってから実践する行動計画を、研修で学んだことを活かしながら参加チームごとにする時間となった。



策定した行動計画について、講師に相談してブラッシュアップしたり、様々な課題についてアドバイスを受ける個別相談会を行った。



研修1日目の夜は、参加地域からいろいろなお国自慢を持ち寄っての交流会。

この時間は、講師と参加者、また参加者同士で、様々な情報が交換される貴重なひとときとなった。



研修の最後に記念撮影！ 地域に帰ってからの実践が本番で、帰ってからも頑張りましょうと互いにエールを交わしながら帰途につきました。



最終日の翌日、希望制でエクスカージョンを実施。那須平成の森フィールドセンターにて森を歩くツアーに参加。インタープリターのわかりやすい解説で参加者全員、楽しむことができました。

